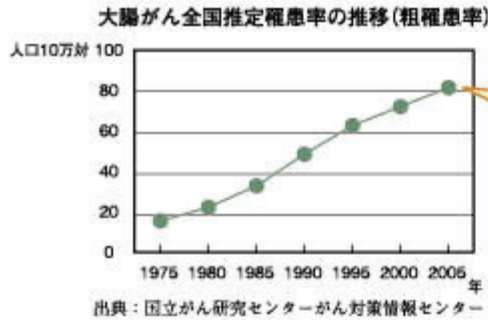


大腸がん検診 を受けましょう



大腸がんになる人が増加しています



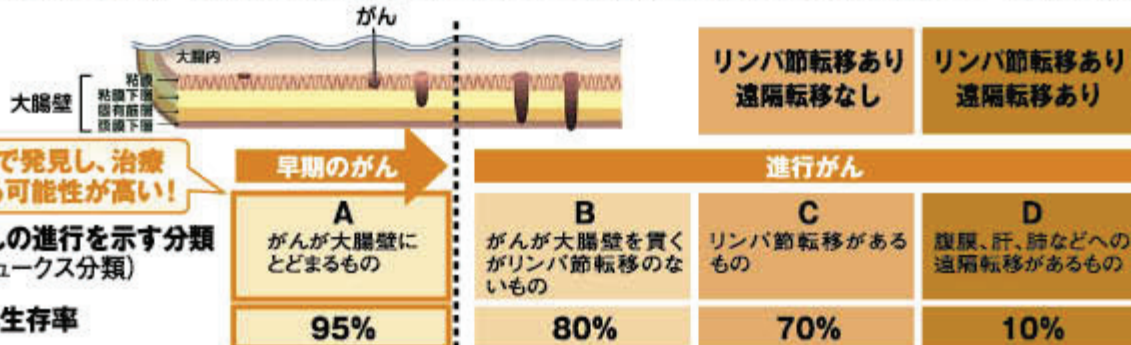
こんな症状に要注意!

- 早期大腸がんではほとんど症状はありません
 - 進行すると…
 - 便に血が混じる
 - 便が細くなる
 - 下痢と便秘を繰り返す
 - 残便感(便が出きらない感じ)
 - おなかの痛み・はりを伴うしこり など
- ※ 気になる症状があれば医療機関で受診しましょう。

早期発見・早期治療でほぼ完治できます

大腸がんの進行度と5年生存率

● 5年生存率とは… がんと診断された場合、5年後に治療でどのくらい生命を救えているかを示す指標



参考：国立がん研究センターがん対策情報センター資料より

40歳になったら年に1回は大腸がん検診を受けましょう

● 検診内容

一次検査

問診・便潜血検査
(便に混ざっている血液の検査)

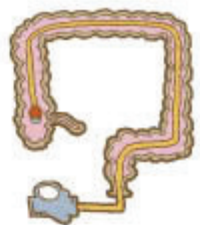


一次検査で陽性と
言われたら
必ず精密検査を
受診!

精密検査

内視鏡で大腸の中
をみる検査
(大腸内視鏡検査)

※ 奈良県で一次検査が
陽性で精密検査を受
けた人は、たったの
6割しかいません!
出典：平成20年度奈良県調査



一言アドバイス

大腸がん詳しい西尾功先生(奈良市開業医)にお話を伺いました。



大腸がんは早期発見が大切です。早期のがんは検診で発見されやすく、簡単な治療で治る可能性が高いです。検査の方法はいたって簡単なもので、症状が出てからではなく、定期的に検診を受けましょう。他の検診と併せて受診されることをお勧めします。高齢社会において、自分の体は自分で守っていくことを心がけましょう。

体験談

ご主人を大腸がん亡くされ、ご自身も大腸がんを患われた奈良市在住のAさん(女性)にお話を伺いました。がんになると、本人も家族も大変辛い経験します。私の場合は、幸いにも検診で早期に見つけることができましたが、できれば病気とつきあうことなく生活をしたいです。皆さまも、私や私の家族のように辛い思いをしないためにも、必ず検診を受診されることをお勧めします。

テーマ「大腸がんについて」

12月号で募集した川柳の中から優秀作品を紹介します。

- 「ストレスの溜まらぬ暮らし ちょう(超=腸)元気」
小川 恵玉さん (大和郡山市)